

別記様式第1号の2の2 (第3条の2、第51条の9関係)

①  防火 ②  防災  
 管理者選任(解任)届出書

③ 年 月 日

小松島市消防長 殿

④ 管理権原者  
 住 所 \_\_\_\_\_  
 氏 名 (法人の場合は、名称及び代表者氏名) \_\_\_\_\_  
 電話番号 \_\_\_\_\_

下記のとおり、  
 防火 ①  
 防災 ②  
 管理者を選任(解任)したので届け出ます。  
 記

防火 対象物 又は 建築物 その他の 工作物	所在地		⑤		電話 ( )		
	名称		⑥				
	管理権原		⑦ <input type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原		⑧ 複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称		
	用途 <sup>※1</sup>		⑨		令別表第1 <sup>※1</sup> ( ⑩ ) 項 収容人員 <sup>※1</sup> ⑪		
	種別		⑫		<input type="checkbox"/> 甲種 <input type="checkbox"/> 乙種		
	区分		名称		令別表第1 収容人員		
	令第2条を適用するもの <sup>※2</sup>		⑬		( ) 項		
	令第3条第3項を適用するもの <sup>※2</sup>		⑭		( ) 項		
防火・ 防災 管理者 選任 解任	氏名(フリガナ)		⑮				
	住所		⑯				
	選任年月日		⑰		年 月 日		
	職務上の地位		⑱				
	資格	講習	種別	⑲ <input type="checkbox"/> 防火管理 ( <input type="checkbox"/> 甲種 ( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習 ) <input type="checkbox"/> 乙種		<input type="checkbox"/> 防災管理 ( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習 )	
			講習機関	⑳			
		⑳ その他	修了年月日	㉑ 年 月 日		年 月 日	
			⑳ その他	<input type="checkbox"/> 令第3条第1項第 ( ) 号 ( )		<input type="checkbox"/> 令第47条第1項第 ( ) 号	
			<input type="checkbox"/> 規則第2条第 ( ) 号		<input type="checkbox"/> 規則第51条の5第 ( ) 号		
	解任	氏名		㉓			
解任年月日		㉔		年 月 日			
解任理由		㉕					
その他必要事項		㉖					
受付欄 <sup>※3</sup>				経過欄 <sup>※3</sup>			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 印のある欄については、該当の印にレを付けること。  
 3 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。  
 4 ※2欄は、消防法施行令第2条を適用するものについては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものについては管理権原に属する部分ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。  
 5 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあってはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。  
 6 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものについてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入すること。  
 7 防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。  
 8 ※3欄は、記入しないこと。

【防火(防災)管理者選任(解任)届出書(別記様式第1号の2の2)記入要領】

項 目		記 入 要 領	
①	防火 防災	1 「□防火 □防災」のうち、該当する文字の□印それぞれレを付けます。 2 同一の届出書で防火及び防災管理者の選任(解任)を行うときはそのままにします。	
②	選任(解任)	1 「選任(解任)」のうち、該当しない文字を——で抹消します。 2 同一の届出書で選任と解任を行うときはそのままにします。	
③	年月日	提出年月日を記入します。	
④	管理権原者	1 事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。 2 法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職・氏名を記入します。 3 個人企業の場合は、個人の住所を記入します。	
防火 対 象 物	⑤所在地	防火対象物の所在地を記入します。	
	⑥名称	防火対象物の名称及び電話番号を記入します。	
	⑦管理権原	当該防火対象物について管理権原が分かれていない場合(一の事業所で全体を使用する場合は「単一権原」の□印に、分かれる場合は「複数権原」の□印にそれぞれレを付けます。	
	⑧複数権原の場合に管理権限に属する部分の名称	事業所の管理について権限を有する部分の名称を記入します。	
	⑨用途	防火対象物の用途を政令別表第1に掲げる用途等により記入します。 (例) 「物販店舗」、「事務所」、「特定用途の複合」	
	⑩令別表第1	防火対象物の用途を政令別表第1に掲げる用途区分及び項区分により記入します。 (例) 「4項」「15項」「16項イ」	
	⑪収容人員	規則第1条の3の算定基準により算定した防火対象物全体の収容人員を記入します。	
	⑫種別	政令第3条の防火対象物の区分に応じた該当する方の□印にレを付けます。	
	⑬※消防法施行令第2条を適用するもの	1 同一敷地内に同一権原の2以上の建物がある場合、各棟の名称、用途及び収容人員を記入します。 2 棟が多くこの欄に書ききれないときは別紙に記入して添付します。	
	⑭※消防法施行令第3条第3項を適用するもの	1 届出者の管理する事業所が、複数権原の防火対象物の部分で、かつ当該部分が、乙種防火管理講習修了者を防火管理者とすることができる部分(規則第2条の2第1項第2号イからハに掲げる部分)である場合の当該事業所の名称、用途及び収容人員を記入します。 2 前1の事業所が複数になる場合は事業所ごとに記入し、書ききれないときには「別紙のとおり」とし、別紙を添付します。	
防 火 ( 防 災 ) 管 理 者	⑮氏名	防火(防災)管理者となる者の氏名を記入します。	
	⑯住所	防火(防災)管理者となる者の住所を記入します。	
	⑰選任年月日	管理権原者から当該防火対象物の防火(防災)管理者として指名選任された年月日(または届出年月日)とします。	
	⑱職務上の地位	防火(防災)管理者として選任されたときの組織上の地位を記入します。 (例) 「総務部長」、「店長」など	
	⑲種別	1 防火管理者 (1)受講した防火管理講習が甲種の場合 左欄の「甲種」の□印にレを付け、新規講習のみを受講の場合は「新規講習」の□印に、再講習を受講の場合は「再講習」の□印にもそれぞれレを付けます。 (2)受講した講習が乙種の場合 左欄の「乙種」の□印にレを付けます。 2 防災管理者 右欄の「防災管理」の□印にレを付け、新規講習のみを受講の場合は「新規講習」の□印に、再講習を受講の場合は「再講習」の□印にレを付けます。 ※1及び2の場合も、講習の受講以外で資格を取得した場合は、記入不要です。	
	⑳講習機関	防火(防災)管理講習を受講した機関名を記入します。 (例) 「〇〇市消防局」、「〇〇消防本部」、「(財)日本防火・防災協会」等	
	㉑修了年月日	講習を受けた修了証に記載されている修了年月日を記入します。再講習を受講している場合は、最後に受講した修了証に記載されている修了年月日を記入します。	
	㉒その他	講習修了以外の資格者で選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入します。 (例) 規則第2条第1号(安全管理者)	
	解 任	㉓氏名	前任の防火(防災)管理者の氏名を記入します。
		㉔解任年月日	防火(防災)管理者でなくなった年月日(又は届出年月日)を記入します。
㉕解任理由		「転勤」、「退職」など具体的に記入します。	
㉖	その他の必要事項	1 新築工事中の防火対象物について、工事が完了した際の防火対象物の規模を記入します。 (例) 「耐火 地上12階地下2階 延べ面積18,240㎡」等 2 委託選任の場合は、「委託対象物の種類」、「選任種別」及び「防火管理者の選任が困難な理由」を記入します。 (例) 「共同住宅、外部選任、(その他)」「2号対象物、内部選任(小従業員)」等 3 届出者が管理する事業所の「用途」及び「収容人員」を必要に応じて記入します。 4 一時使用の場合は、一時使用の期間を記入します。 5 その他必要な事項を記入します。	

